

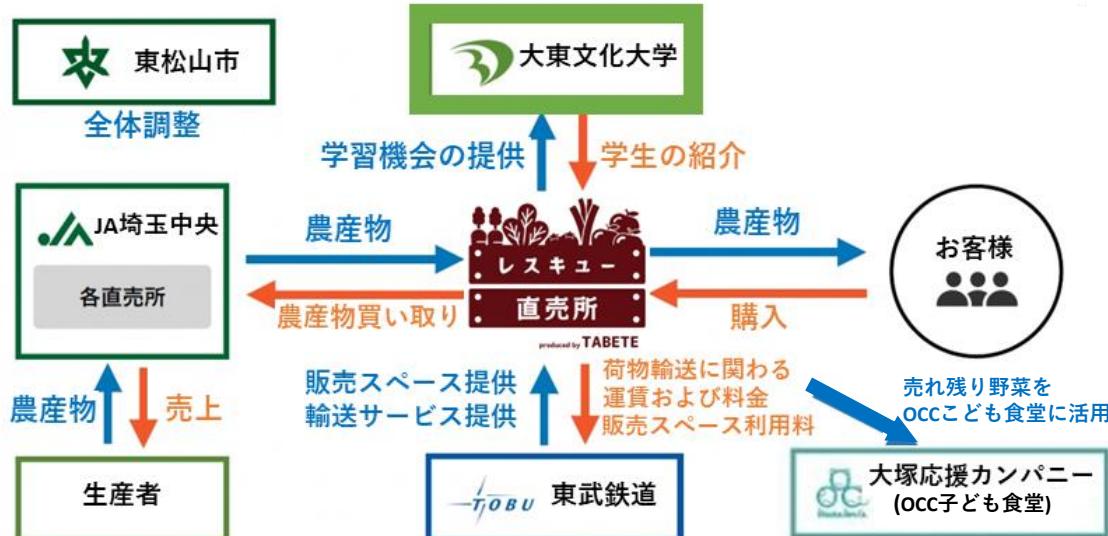
東京都・埼玉県

大東文化大学～産官学連携 TABETEレスキュー直売所～

● 食品ロス削減へ、地域と大学の共創プロジェクト

- ・関係する6者が連携し、食品ロス削減を目的に、JAの各直売所で売れ残った農産物を東武東上線森林公園駅から列車で輸送し、池袋駅で販売する取組み。
- ・大学の参画は、埼玉県東松山市の呼びかけに応じたことがきっかけで実現。
- ・大学生の役割は、農産物の鉄道への積み込み・荷下ろし、池袋駅での販売以外に、組織運営や広報活動まで学生主体で幅広く対応。2021年3月と6月の実証実験を経て、同年8月に本格運用を開始。

<実施体制>



出典：大東文化大学公式ホームページ (<https://www.daito.ac.jp/research/region/tabete/>)

農家の想いとコンテナ満載の野菜、池袋へ向かいます！



大学生による積み込み完了！
野菜を都会へ届ける鉄道便



● 大学生の活動 – 販売を超えて、食の魅力を届ける挑戦

- ・直売所は毎週月・水・金曜18:30~20:30に開催。農産物の取扱量が少ない場合は中止。
- ・農産物の鉄道積み込みから始まる活動は、約20名の登録メンバーから毎回3~5名でチームを編成。
- ・農産物の特徴や美味しい調理法を自主的に学び、マクワウリやキクイモなど珍しい野菜はポップで下処理方法やレシピなどを紹介。

● 地域との共創で広がる、食の循環と学びの場

- ・関係6者による定例会議で現状報告と今後の方針を協議し、地域や企業との連携を強化。
- ・直売所でも売れ残ってしまった農産物を大塚応援カンパニーが引き受け、子ども食堂で子どもたちへ提供。
- ・直売所の活動以外にも、JAの協力を得て、生産者交流会を開催し、生産者と意見交換しながら農産物の生産から消費まで体験。

● 課題と今後の展望

- ・最近は、猛暑の影響により農産物の取扱量が減少し、営業は不規則な状況。
- ・持続性の鍵は、私たちの行動でつかむ直売所の黒字化！



Instagram

売るだけじゃない、人とつながる楽しさがここにある！



大塚応援カンパニーのお弁当提供。子どもの笑顔がゴール



★ 概要 ★

設立：2021年

メンバー：約20名

活動分野：農産物の販売、生産者・消費者との交流

問い合わせ先：大東文化大学地域連携センター chiiki@jm.daito.ac.jp